

第1分団、県大会で見事優勝！

第64回西部消防ポンプ操法大会・第69回鳥取県消防ポンプ操法大会



表彰状を手に笑顔の第1分団団員

第64回西部消防ポンプ操法大会が、6月11日、県消防学校（米子市）で開かれ、日野町消防団（廣川光保団長）からは、第2分団がポンプ車操法の部に、第1分団が小型ポンプ操法の部にそれぞれ出場しました。

競技内容は、ポンプ車や小型ポンプを操作して、標的に向かって放水し、終了するまでの規律動作や時間を競うものです。多くの見物人が見守る中、日ごろの訓練の成果を披露し、審査の結果、第2分団はポンプ車操法の部で第5位、第1分団は小型ポンプ操法の部で優勝という好成績を収め、第1分団は県大会へと出場を果たしました。



火点をめがけて全力で放水（第1分団）

7月2日に開かれた第69回鳥取県消防ポンプ操法大会では、第1分団が小型ポンプ操法の部に出場。素早い動作で火点へ放水し、見事、優勝という結果を勝ち取りました。西部地区大会における町消防団の優勝は、平成30年以来5年ぶり。県大会における優勝は、平成20年以来15年ぶりの快挙です。

優勝により、大会長表彰、消防庁長官表彰、消防桜美会会長表彰をそれぞれ受賞。また、出場選手の中で、佐野精彦さん（根雨、第1分団班長）が、指揮者の優秀番員賞を受賞しました。

長年続く、サツマイモを通じたふれあい

ひのっこ保育所と津地自治会がサツマイモ植え交流



地域の人と一緒にサツマイモの苗植え

6月7日、津地市内の畑で、ひのっこ保育所と津地自治会とのサツマイモ植え交流が行われました。

当日は、保育所から年長児8人が参加。一人一列30本、約240本の苗を地域の人と協力して植えていきました。作業後は、津地自治会からスイカがふるまわれ、みんな「おいしい」と食べていました。

天気にも恵まれて、園児たちの元気な声と笑顔があふれていました。畑までの行き帰りも、電車に手を振ったりと終始楽しんでいました。秋には、イモ掘り収穫祭が開かれる予定です。

認知症になっても安心して暮らせる社会を

認知症の理解を深める映画上映会



映画では描かれていないシーンを語る信友さん

6月17日、町文化センターで、映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」おかえりお母さん」の上映会が開かれました。

同映画は、認知症の母親を抱えた家族を描いたドキュメンタリー。会場には約200人が来場し、真剣に鑑賞する姿が見られました。

上映会の後は、同映画監督の信友直子さんによるお話し会。信友さんのお話しの中で、「認知症になったら周りに相談することが大事。地域包括支援センターなどの相談窓口も活用してください」と語りました。



日野つこ・風の子・元気な子！
日野学園マラソン大会

声援を受けながらまちなかを走る児童たち

6月16日、旧黒坂小学校のグラウンドや、その周辺を会場に、日野学園マラソン大会が行われました。大会は2部構成で、1年生から4年生の下級生の部、5年生から9年生の上級生の部に分かれています。1・2年生は800m、3・4年生は1・0km、5・6年生は1・6km、7・9年生女子は2・2km、男子は3・0kmのコースを、それぞれ走り切りました。子どもたちは、地域の皆さんの声援を受けながら全力で走り笑顔でゴール、元気な姿を見せていました。



世代を超えた交流で会話も弾む
高尾地区で笹餅づくり

団子の包み方を丁寧に教えてもらいます

6月17日、高尾公民館で、笹餅づくりが行われました。高尾地区では、毎年この時期に笹餅づくりを行っています。今回は日野高校の生徒6人も参加し、交流を深めました。生地を練り上げ丸めた団子を、地域で採れた笹に包んでいきます。生徒たちは、団子の包み方を丁寧に教えてもらいながら、真剣に挑戦していました。参加した生徒は、「優しく教えてもらえたおかげでおいしい笹餅ができました」と、地域での交流を楽しんでいました。

集落支援員
だより

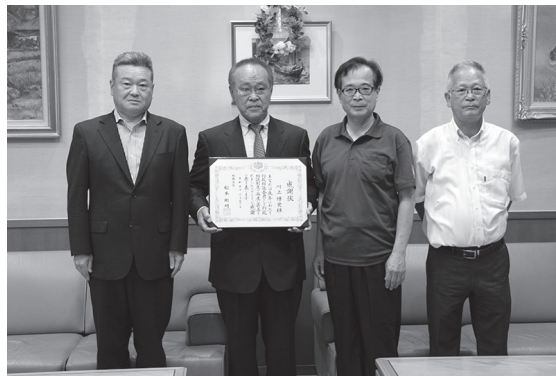
SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明
担当地区：菅福



6月5日の週に、住舞瑠カフェの隣の庭で、ガーデンカフェを開催しました。

梅雨のジトジトした雨とは違った大粒の雨が降り続く中、出展いただいた五月の盆栽、大輪のバラ、鮮やかに咲いたラベンダーを、ぎゅうぎゅうのテントの中から眺めながら、「雨の花見もいいね」「来週も来るから期間延長してよ」と、大にぎわいでした。

地域おこし協力隊の眞崎愛さんによる竹細工の実演とワークショップでは、教わりながらコースターを編む人、中にはいきなりバックを編んで驚かせる人もいて、こちらも好評でした。竹細工教室には10人の応募があったようです。



▲感謝状を手にする川上さん(左から2番目)と、新たに委嘱された柴田さん(右)

行政相談委員は、総務大臣から市町村ごとに委嘱され、皆さんから行政サービスへの要望や暮らしの困りごとなどを聞き、解決のための助言や、関係機関への連絡などを行っています。

7月3日、長年行政相談委員を務めてきた川上博史さん(本郷)に、総務大臣から感謝状が贈られました。また、4月1日付で行政相談委員として、柴田孝志さん(下榎)が新たに委嘱されました。任期は、令和7年3月31日までです。

行政相談員川上博史さんに感謝状